



2021年度SeinanVisMootメンバー



2019年度香港大会 (オンライン)



2019年度ウィーン大会



2019年度日本大会表彰式



2021年度 活動風景

SeinanVisMoot

公開 実戦練習

—学内者・高校生対象—

Vis Moot は毎年春、ウィーン・香港をメイン会場に、世界各地で開催される 模擬国際仲裁大会です。国際取引上の架空の紛争について、売主・買主側弁護士に扮して、仲裁人の前で法律を武器に戦います。出題も弁論もすべて英語です。

3月13日の日本大会本番を前に、今年も**SeinanVisMoot** は、大会前に本番に近い緊張感の中で練習し、また高校生の皆さんに VisMootを知ってもらうため、弁護士の先生をゲスト仲裁人にお迎えし、公開実戦練習をオンラインで行います。

今年は、パーム油の売買契約と環境保護がテーマです。皆様のご参加を、メンバー一同お待ちしております。

2022年3月3日 木

16:00~19:00

- 16:00~16:15 SeinanVisMoot紹介/事案紹介
- 16:15~17:30 第一試合(日本語)
- 17:30~18:45 第二試合(英語)
- 18:45~19:00 講評/SeinanVisMootへの質問受付タイム

■ **学内者・高校生対象** イベントです
事前登録をお願いします

<https://forms.gle/6TuVKwKRvpTzjc2P7>

追って、ZoomURLおよび資料をお送りいたします。



ゲスト: 紫牟田 洋志 (紫牟田国際法律事務所/日本・ニューヨーク州弁護士)
隈 慧史 (紫牟田国際法律事務所/日本弁護士)
坂本 龍彦 (紫牟田国際法律事務所/日本弁護士)

お問い合わせ先 法学部 釜谷 真史 kamatani@seinan-gu.ac.jp

VisMoot とは？

Vis Moot は、*The Annual Willem C. Vis International Commercial Arbitration Moot*(模擬国際仲裁大会)の略、全世界の法学部・ロースクール学生のための、国際的に著名な法律弁論大会です。毎春、オーストリア・ウィーン、および香港で開催されており、世界の法曹界において、国際弁護士の登竜門とされています。ケンブリッジ大、ハーバード大、北京大といった著名な大学をはじめ、世界80か国以上から約400校が集まります。

仲裁 とは、裁判所を使わない紛争解決方法です。国際取引紛争が生じた場合、特定の国の裁判所を用いるのではなく、当事者の合意で選んだ、世界各地の仲裁機関を用いることがグローバル・スタンダードとなっています。VisMootでは、架空の国際取引紛争を題材に、参加チームはそれぞれ、仲裁を求める企業と相手方企業の代理人弁護士に扮し、実際の仲裁さながらに争っていくことになります。

英語 が使用言語(日本大会日本語の部を除く)。例年10月、約60ページの証拠等が問題として与えられます。参加者は、国際取引に関連する法律を使って主張を説得的にまとめあげ、30ページ以上に及ぶ準備書面を作成して提出します。大会ではこれをもとに、仲裁人役の前で主張し、仲裁人の質問に応答します。「読み・書き・聴き・話す」という英語四技能が丸ごと鍛えられ、英語そして法律を道具として、グローバルに活躍するためのスキルが育まれる場です。

SeinanVisMoot は2017年に西南学院大学法学部学生により設立された、5年目のチームです。1年次教育で取り入れているディベートを基礎に、今年度は国際弁護士の絹川恭久先生(日本・ニューヨーク州・香港弁護士)をコーチに迎え活動しています。

初年度の2017年度に日本大会日本語の部チーム優勝、優秀弁論賞(MVP)受賞を果たし、以降昨年まで連続 **4連覇**を達成、昨年度はチーム初となる**英語の部入賞(準優勝)**を果たしました。ウィーン大会・香港大会では、スタンフォード大学、コロンビア大学をはじめ、世界各国の大学と戦い、今年度はオックスフォード大学や中国・厦門大学との試合を控えています。法学部1年生から4年生まで22人が、チーム一丸となって準備を進めています。

▣SeinanVisMootについてはこちらもご参照ください。

[西南学院大学受験生サイト VisMoot特集ページ](#)



@seinanvismoot



@MootVis

SeinanVisMoot とは？